



# JAL不当解雇撤回ニュース

No475 号 201512.20  
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局  
連絡先: 航空労組連絡会事務局  
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4  
フェニックスビル内  
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819  
<http://www.jalkaikotekkai.co>

# 国交省の責任は重大です!



座り込みに先立ち、厚労省前で30分間の抗議行動が行なわれました。企業を支えているのは労働者です。企業に「働くルールを守らせる」「違法な解雇を止めさせる」それが厚労省の仕事です。

12月8日から11日まで今年2回目の国交省前座り込みが行なわれ、延べ832名が参加しました。11月12日出されたILO3次勧告では争議解決のため、有意義な話し合いを再度強く求めています。公共交通機関JALの再建は個別の企業問題ではありません。そして破綻の責任者でもある国交省は、今こそ健全なJAL再建に向けて争議解決のため、速やかにその権力を行使し監督官庁として責任を果たしてください。

【写真右から3番目畑野君江議員】



“解雇撤回・安全守れ・職場に戻せ”  
国交省・経産省・警視庁の周りを牛歩



## 連帯の挨拶から

- \* 「和民、和解成立」JALにも「私達が悪かった」と早く言ってほしい。
- \* システム化・合理化の中での安全追求、ベテランは必要、組合の目は必要。
- \* 余裕のないJALの職場では、性格が変わる人、心を病む新人が目立つようになった。安全の層が薄くなっている。
- \* 規制緩和で様々な安心安全が脅かされている。事故が起これば企業の存続問題になり、労働者が犠牲になる。その前に行政がイニシアチブをとれ。

最終日11日は午前中の雨模様が24度を越える陽気となり、前日までの毛布・カイロが不要になりました。国交省の窓もあちこちで開かれ、私達の訴えは確実に多くの職員の耳に届いたはずです。

厚労省要請では、「未だILOの勧告読んでいない」とのことですが、1億総活躍社会を目指すなら、働く者の権利を守る行政が不可欠です。

12月15日、JALは2016年度から全てのCAを正社員として採用すると発表しました。これは私達CCU組合が21年間要求し続けてきた成果です。JALが目指す“世界一の航空会社”になるためには、まず違法な5争議を解決しなければなりません。建設的なJAL発展のため、健全な労使関係に戻すため、今がそのタイミングです。

